



2022年 5月 2日
第199号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



「2022年度駅業務執行体制の再構築について」 提案受ける！②

●各箇所の標準数

変更前後の標準数

箇所名		現行					改正					増減	記事	実施日
		変形等	交代	乗務員		計	変形等	交代	乗務員		計			
				日勤	泊				日勤	泊				
湘南・相模統括センター	管理	13	8			21	13	8			21	0	乗務員（日勤）のうち、1は土休カット	2022年10月1日実施
	一般	9	29	4	13	55	9	28	4	13	54	△1		
小田原・伊豆統括センター	管理	17	7			24	17	7			24	0	熱海駅・伊東駅販売体制の見直しに伴う変更。乗務員（日勤）のうち、2は土休カット	
	一般	15	33	19	16	83	13	33	19	16	81	△2		
桜木町営業統括センター	管理	5	3			8	5	3			8	0		
	一般	5	21			26	6	20			26	0		
武蔵溝ノ口駅	管理	2	1			3	2	1			3	0		2022年11月1日実施
	一般	2	4			6	1	3			4	△2		
登戸駅	管理	1	1			2	1	1			2	0		
	一般		4			4	1	3			4	0		
鎌倉駅	管理	2	1			3	2	1			3	0		
	一般	5	3			8	4	3			7	△1		
桜木町営業統括センター	管理	5	3			8	5	3			8	0		2022年12月1日実施
	一般	6	20			26	5	20			25	△1		
長津田駅	管理	1	1			2	1	1			2	0		2023年2月1日実施
	一般		3			3		2			2	△1		
横浜駅	管理	10	2			12	10	2			12	0		2023年3月1日実施
	一般	14	22			36	14	21			35	△1		

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出人数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。



●会社との主な議論

組合	会社
具体的な窓口削減数についてはどうか。	各駅に現行ある窓口数を1つずつ削減する。
窓口削減や廃止でえきねっとダウンで施策にシステムがおいっていないのではないのか。	ゴールデンウィークで売り出しが集中した。お客さまに迷惑をかけるないようにしていく。
窓口削減されて通学定期購入における課題は何か。また、営業時間の短縮についての影響はないのか。	窓口ある駅に集中してしまった。券売機の設定で対応したところもある。営業時間については駅の実態にあわせた。定期の多売で集中したが営業時間の延長で対応を行ったので、お客さまに迷惑かけている認識はない。
ホーム業務体制について、どのように変わるのか。	横浜駅東海道ホーム3徹から2徹になる。終日ではなく、朝の上りや夕方の下りなど人は残る。
生産性向上で効率的な業務執行体制で社員の働きがいはどうなるのか。	コロナ禍の新しい生活スタイルの定着。現在の状況にどうあわせていくのか。やみくもに削減ではなく、安全ベースに考えている。

お客さまが利用しやすい駅と働きやすい職場を実現しよう！